

令和5年度 第2回うつのみや産業振興協議会

日 時：令和6年2月20日（火）
10時00分～11時30分
場 所：宇都宮市役所 14階A会議室

会 議 次 第

1 開 会

2 議 事

「うつのみや産業振興ビジョン」の重点施策について・・・資料1, 資料2

- ・ 令和5年度の主な取組状況と令和6年度の主要事業について
- ・ オープンイノベーション、スタートアップ支援に関する取組紹介および意見交換

3 その他

4 閉会

【資料】

- ・ 資料1 「うつのみや産業振興ビジョン」の重点施策について
- ・ 資料2 重点施策の取組状況と令和6年度の主要事業について

うつのみや産業振興協議会 委員名簿

(令和5年度)

No.	分野	組織名	役職	氏名	備考
1	農業	宇都宮農業協同組合	代表理事常務	見形 繁	
2		株式会社 ファーマーズ・フォレスト	代表取締役	松本 謙	
3	工業	株式会社 ジェイテクトファインテック	総務部長	荏田 久雄	
4		株式会社 オニックスジャパン	代表取締役	大西 盛明	
5		キヤノン 株式会社 宇都宮事業所	部長	石川 和良	
6		株式会社 SUBARU 航空宇宙カンパニー 総務部	部長	羽野 将史	
7	商業・情報	株式会社 TKC	相談役	角 一幸	
8		株式会社 東武宇都宮百貨店	代表取締役社長	星 佳成	
9		東日本電信電話 株式会社 栃木支店	支店長	横山 稔	
10	観光	株式会社 JTB 宇都宮支店	支店長	鹿野 英克	
11	スポーツ	サイクルスポーツマネージメント 株式会社	代表取締役社長	柿沼 章	
12		株式会社 栃木サッカークラブ	代表取締役社長	橋本 大輔	
13	支援機関	宇都宮商工会議所	常務理事	小関 裕之	<副会長>
14		宇都宮まちづくり推進機構	理事長	須賀 英之	<会長>
15		公益財団法人 栃木県産業振興センター	専務理事	篠原 良一	
16	学識 経験者	株式会社 あしぎん総合研究所	取締役本部長チーフ エコノミスト	太田 敏幸	
17		国立大学法人 宇都宮大学 イノベーション支援センター	センター長	高山 善匡	
18	行政	栃木労働局	職業安定部長	左藤 倫子	
19		宇都宮市	経済部長	鈴木 信夫	

(敬称略・分野ごと組織名五十音順)

うつのみや産業振興ビジョンの重点施策について

資料 1

<施策の柱と方向性>

1. 本市産業を発展させる新事業、成長産業の進行

- ・DXやGXなどの推進や、本市まちづくりの発展を契機として、本市産業をけん引するモビリティ関連産業の更なる飛躍を促進
- ・企業の技術力や経営資源を活用して、社会や地域の課題解決への貢献・協力を促進
- ・企業間取引やオープンイノベーションの活性化による、コネクターハブ企業の創出と産業集積の多軸化を図る
- ・新たな企業や地場企業による第2創業が絶え間なく創出されるよう起業、創業を積極的に促進

2. 産業集積を高める企業の立地・定着の促進

- ・8つの「産業拠点」の活力維持と、新たな産業用地の開発を推進
- ・高い生産性や付加価値など高度な産業集積、さらなる拠点化を促進
- ・市外からの新たな企業の立地や、既存立地企業の定着と拡大再投資、地域内での強い取引関係の構築を促進し、さらなる産業集積を図る
- ・「若年女性」や「農業」などの受け皿となる企業の立地を促進

3. 本市産業を支える中小・小規模企業、地場産業等の振興

「中小・小規模企業」「地場産業」「農業者」が人口減少による内需の縮小や経済安全保障上の課題への対応、DXやGXの推進といった社会経済環境の変化と、各事業者が抱える多様な課題に的確に対応し、持続的に成長できるよう経営力や生産性、創造性の向上を促進

4. 地域資源を最大限に活かす産業の総合力の向上

地域資源を最大限に活かして、製品や生産物、サービスに高い付加価値を創出し、市場規模を拡大するとともに、生産性を向上するため、企業間、産学官金間、さらには農林業、商業、工業、観光業の産業間の連携を促進することで、産業の「総合力」の向上を図る

5. 産業活動の源となる人材の確保と育成

- ・女性の雇用創出効果が高い企業の立地を促進
- ・子育てと仕事を両立できる環境などの整備を進め、女性や高齢者などの就労を促進するほか、企業の円滑な人材確保・育成を推進するとともに、副業やジョブ型雇用などの多様な働き方を促進
- ・地域産業を牽引する人材の確保・育成を図るとともに、次代を担う若者の職業観・就業観・起業家精神を醸成

<主な取組例>

- モビリティ関連産業を始めとする重点振興産業の更なる振興の促進
 - 脱炭素化の促進や脱炭素化に伴う新技術・新製品開発,新分野進出の促進
 - DXの推進による生産性や付加価値の向上の促進
 - 企業間や産学官金間の連携促進
 - スタートアップを始めとした起業・創業の創出及び成長・定着の促進
- 企業の新規立地や既存企業の拡大再投資に向けた支援の強化
 - 新たな産業用地の開発推進
 - 重点振興産業を中心とした企業の集積促進
 - 東京圏等からの本社機能の移転促進とオフィス系企業の立地促進
 - 企業の農業参入に向けた支援
- 事業承継や技術継承の担い手確保・育成の強化
 - デジタル化、脱炭素化などによる経営力強化と生産性向上の促進
 - 中心市街地の商店街の賑わい創出
 - 大谷石の魅力の発信・利用促進による大谷石産業の振興
 - 農地や森林の集積・集約化の促進、スマート農業導入等による生産性向上
 - 環境と調和した営農・保全活動の推進
 - 国内・海外への販路拡大の促進
- 地場製品のブランド力向上および6次産業化の促進
 - 農工連携による農業支援サービスの開発・提供等の促進
 - 市内の企業や飲食店と連携した農産物の流通拡大
 - 大谷の地域資源を活用した観光業等のさらなる振興と新たな産業の創出
 - LRTによる中心市街地の「都市拠点」や「産業拠点」,「観光拠点」における経済活動の活性化と、交流人口の増加の促進
 - スポーツツーリズムの展開など、年間を通じた地域経済の活性化
 - MICEを活用した地域産業の活性化,MICEを推進に向けた基盤強化
 - 交流人口の拡大に向けたインバウンドの推進や長期滞在型の誘客の促進
- 東京圏等からの本社機能の移転とオフィス系企業の立地促進
 - UJIターン就職・地元進学者の地元就職・就農支援の強化
 - 地域産業を牽引する多様な人材確保・育成
 - 「起業家」の創出・成長の促進
 - 「働き方改革(女性や若者が活躍しやすい環境整備など)」の推進
 - 新規就農者や林業従事者の確保・育成

<取組に係る個別事業例>

- ・企業立地等支援補助金
 - ・新産業創出支援事業補助金
 - ・中小企業高度化設備設置補助金
 - ・次世代産業イノベーション推進事業交付金
 - ・高度技術産学地域対象事業補助金
 - ・宇都宮ベンチャーズ事業
 - ・宇都宮サテライトオフィス事業
 - ・本社機能立地支援補助金
 - ・オフィス企業立地支援補助金
 - ・地域中核企業支援事業
 - ・企業の農業参入支援事業
- ・事業継承支援事業
 - ・ICT利活用促進事業
 - ・魅力ある商店街等支援事業
 - ・商店街空き店舗活用推進事業
 - ・大谷石利用促進事業
 - ・園芸作物生産施設等整備事業
 - ・販路開拓支援事業補助金
 - ・宇都宮農産物輸出促進支援事業
- ・農産物ブランド推進事業補助金
 - ・地産地消推進事業交付金
 - ・大谷特性活用支援事業
 - ・ナイトタイムエコノミー補助金
 - ・東部エリア賑わい創出及び体験型観光ツアー等造成支援補助金
 - ・ジャパンカップサイクルロードレースの開催
 - ・FIBA3x3ワールドツアーの開催
 - ・MICE開催支援補助金
 - ・駅東口地区の賑わいの創出事業
- ・UJIターン人材確保支援補助金
 - ・将来の市内就職促進事業
 - ・農村女性起業支援事業
 - ・担い手確保育成支援事業補助金
 - ・林業次世代人材育成確保事業

協議会の位置付け

市内の産業界,支援機関,学識経験者,行政で構成し、『うつのみや産業振興ビジョン』の推進に向けた施策等に対し,幅広い視点からの意見聴取や,経済産業に関連する特定テーマに係る意見交換を行う組織

本日の議題

1. 令和5年度の主な取組状況および令和6年度の主要な施策事業について

【今回,ご意見・ご議論いただきたい内容】

- (1) 各重点施策における**各業界の動向や関連する取組**について
- (2) 令和6年度の**主要事業実施にあたってのご助言や留意点**などについて
- (3) その他, **行政を含めた関係機関等に求める対応**などについて

2. 特定テーマについて

オープンイノベーション, スタートアップ支援に関する取組紹介および意見交換

1. 令和5年度の主な取組状況および 令和6年度の主要な施策事業について

重点施策 1 本市産業を発展させる新事業，成長産業の振興



【令和5年度の主な取組状況】 ※実績はR6.1月末時点

- (新) 「宇都宮市リーディング企業」等による市内企業交流会の開催
⇒ 13社，参加者数 延べ 350名
- (新) 中小企業事業資金貸付金の活用促進（ゼロカーボン推進資金）
⇒ 2件，15,600千円
- (新) 本市助成制度や国等の助成制度の活用可能性を自動診断できるシステムの運用
⇒ アクセスユーザー数539件
- (新) 市内中核企業とスタートアップによる共創プロジェクトの事業化を伴走支援
⇒ 共創プロジェクト1件の創出
- (新) インターネットでの宇都宮産農産物のPR及び販路拡大
⇒ 特設PRページアクセス数：2,628件，販売促進期間での販売実績：874件



令和6年2月2日 市内企業交流会
@ライトキューブ宇都宮
(リーディング企業によるトークセッション)

【令和6年度の主要事業】

- (新) 宇宙産業の推進・企業版ふるさと納税を活用した宇宙関連企業の資金調達支援
・ビジネスアイデアの創出を図るためのワークショップの開催
- (拡) SBT認証企業に対する生産設備導入費を助成（補助率2%上乗せ（計5~6%，上限10,000千円））
- (新) ITリテラシー向上を図るためのITパスポート資格取得経費への助成（補助率1/2）
- (拡) 市内中核企業とスタートアップによる共創プロジェクトの事業化を伴走支援（1社⇒2社）
- (新) 起業を目指す大学生を対象とした職業体験の実施

重点施策 2 産業集積を高める企業の立地・定着の促進



【令和5年度の主な取組状況】 ※実績はR6.1月末時点

(拡) 東京圏における交流・活動拠点「宇都宮サテライトオフィス」の運営

⇒ 体制強化による活動の拡大（東京圏企業等との面談 621件）

(拡) 企業立地等支援補助金における重点分野の拡充

⇒ 半導体関連産業や蓄電池産業を大規模上乗せ対象に追加

（基本補助：3億円，大規模上乗せ：7億円）

(新) 新たな産業団地の確保に向けた調査検討

⇒ 「事業候補地」を選定（2月下旬公表予定）

宇都宮工業団地周辺，瑞穂野工業団地・インターパーク地区周辺，清原工業団地・テクノポリスセンター地区の3つの検討地域において，工場用地の確保可能面積や概算事業費などを算出し，本市まちづくりへの波及効果など，総合的な観点から評価を実施

・ オフィス企業立地支援補助金の交付 ⇒ 10社 23,968千円



宇都宮サテライトオフィス

【令和6年度の主要事業】

(拡) 新たな産業団地の整備に向けた取組の推進

⇒ 事業の具体化に向けた基本計画等の作成，現況測量，地元説明会の開催など

・ 「企業立地等支援補助金」「本社機能立地支援補助金」「オフィス企業立地支援補助金」による企業の立地定着の更なる促進

(新) 大規模な担い手の確保を図るため，農業参入企業への誘致の実施

重点施策3 本市産業を支える中小・小規模企業，地場産業等の振興



【令和5年度の主な取組状況】 ※実績はR6.1月末時点

- ・ 経営者向けや士業向けなど，対象ごとの「事業承継セミナー」を開催
⇒ 年2回 参加者 130名
- (新) 旧大谷公会堂などを活用した観光周遊拠点施設「大谷コネクト」の開業
⇒ 令和5年11月供用開始
- ・ 大谷地域の資源を活用した事業への支援
⇒ 大谷地域特性活用補助金：4件 3,500千円
- (拡) ドローン導入によるスマート農業の推進に向けた支援
⇒ 農薬散布等の省力化に係る機器の導入 1件
- (新) 広域協定に基づき農地等の保全活動に取り組む組織の事務局運営に対する支援
⇒ 広域協定締結 18組織（うち新規立ち上げ 3組織）

施設愛称 大谷コネクト
(令和5年11月20日オープン)



大谷観光周遊拠点施設の開業

【令和6年度の主要事業】

- (拡) 魅力ある商店街等支援事業補助金（商店街における防犯カメラ設置や警備強化に対する助成の拡充）
- (拡) 大谷地域特性活用補助金（大谷石を活用した産業振興に対する経費の助成を拡充）
- (拡) グリーンスローモビリティの運用，パークアンドバスライドの実施，バス待合環境の整備
- (新) 市内企業の製品等の販路拡大を図るため，公共による調達を推進
- (新) 環境負荷低減技術の効果検証・普及によるグリーン農業の推進（低コスト施肥技術の実証への支援）
- (新) グリーン農業農産物の流通・消費拡大に向けたマルシェの開催

重点施策 4 地域資源を最大限に活かす産業の総合力の向上



【令和5年度の主な取組状況】 ※実績はR6.1月末時点

- (拡) 「FIBA 3x3 ワールドツアーーうつのみやオープナー 2023」の開催
⇒ 来場者数：7万人，経済効果：5億8,640万円（過去最多）
- (拡) 「第30回記念 2023ジャパンカップサイクルロードレース」の開催
⇒ 来場者数：約13万人 経済効果：31億2,200万円（過去最多）
- (新) 森林公園の再整備に向けた民間事業者の募集選定
⇒ 施設整備及び完成後の施設管理を担う新指定管理者の決定
- (新) 旅行情報誌とインフルエンサーを活用した観光プロモーション
⇒ 旅色HP閲覧：約29万件，SNS閲覧：約690万件
- (新) MICEの推進に向けた県外自治体等と連携した商談会への参画
⇒ 年3回実施（7月，11月，3月）



旅行情報誌等を活用した観光プロモーション

【令和6年度の主要事業】

- (新) 「パリ2024 FIBA 3x3オリンピック予選大会」の開催
- (新) 「アーバンスポーツフェスティバル」の開催（プロ選手によるデモンストレーションやワークショップ）
- (新) 森林公園の再整備（民間活力を最大限活用した指定管理者による再整備）
- (新) インバウンド誘客アクションプラン策定，観光コンテンツ造成
- (新) 国際会議の誘致に向けた広域プロモーションツールの作成
- (新) MICEの推進に向けた海外プロモーション・セールス体制の整備

重点施策 5 産業活動の源となる人材の確保と育成



【令和5年度の主な取組状況】 ※実績はR6.1月末時点

- ・ 高校生を対象とした将来の市内就職促進事業（じぶん×未来フェア）の実施
⇒ 参加生徒数 943人，出展者数 30社
- （新）市内企業が実施する新卒採用者等への奨学金返還支援を助成
⇒ 協力企業：11社
- ・ 大学・産業界と連携した起業家精神養成講座の開催
⇒ 受講者：大学生 33名
- （新）高校生・大学生向けに林業体験機会の創出
⇒ 高校生：トライアル研修 51人，大学生：体験バスツアー参加者 13人
- （新）林業事業体の経営基盤強化に向けた支援
⇒ 高性能林業機械導入補助（2件），林業作業員安全装備品購入補助（2件），資格取得等補助（2件）



令和5年9月27日 じぶん×未来フェア
@ライトキューブ宇都宮

【令和6年度の主要事業】

- （拡）インターンシップを実施する中小企業への助成（補助率1/2，限度額7.5万円/人）
- （新）大学生等の就職活動に必要な交通費への助成（補助率1/2，限度額1万円/人）
- （拡）就職が困難な求職者を雇用した中小事業者に対する奨励金（国助成金への上乗せ，短時間労働者も対象に追加）
 - ・ UJIターン就職促進事業の実施（奨学金返還支援への助成やじぶん×未来フェアの実施など）
- （新）起業を目指す大学生を対象とした職業体験の実施〔再掲〕
- （新）農業者の経営能力向上のための研修の実施



2. 特定テーマについて

オープンイノベーション, スタートアップ支援に関する
取組紹介および意見交換

令和5年度の実施事業（オープンイノベーションプログラム）



○ 活動状況

(1) パートナ企業の選定

令和5年5月～ 宇都宮市リーディング企業16社（当時）へ参加意向アンケート実施
6月 今年度のプログラム参加に強い意向のあった「株式会社村田発條」を
ホスト企業として選定



(2) 協業テーマの設定とスタートアップの募集

令和5年7月 協業テーマを「炭素繊維」に設定
7月3日～8月20日 スタートアップ募集
➢ 3社から事前の相談，応募申請
➢ 一方，村田発條側の要望とマッチせず，面談に至らなかった。

(3) テーマ及びスタートアップ募集方法の見直し

令和5年 9月～ テーマやスタートアップへのアプローチ方法の再考
10月 「炭素繊維」のほか，「バネ」や「金属加工技術」などの既存技術の活用もテーマに加え，主に「医療・福祉」，「農業」，「航空宇宙」分野での協業を目指す。
11月～ 支援チームや委託事業者のネットワークにより，スタートアップを個別に探索
⇒ **5社のスタートアップとの面談を実施**

○ 今年度の主な成果について

（1）ナーステックラボ社とのマッチング

- ・ 共同研究に向けた秘密保持契約の締結
- ・ 双方の意向を確認中ではあるが、面談の中で合意した以下の内容について2社間の覚書を締結を検討
 - ① 当面の開発ゴール
 - ② 開発スケジュール案
 - ③ 両者の役割
 - ④ 検討テーマ 等

（2）村田発條内の本プログラムに関する検討チーム組成

- ・ 新規事業開発 興味があるメンバーを集め、5名の検討チームが組成され、プログラム終了後の自走化も見据えた体制が構築された。

（3）マインド醸成

- ・ 新規事業の進め方やスタートアップとの協業のノウハウが習得された。

令和6年度の事業概要（案）

■ 事業の体系図（案）

